



# 学校だより

江東区立深川第四中学校

## 79回目の開校記念日

～5月10日は深川四中の79回目の開校記念日でした～

校長 関根 淳之

5月も半ばを過ぎ、初夏の気候となり、新緑が美しくかがやいています。4月末から「ゴールデンウィーク」がありました。4月29日（昭和の日）、そして5月2日からの5連休は、おおむね天候にも恵まれ、各ご家庭で様々な計画をたてて有意義に過ごされたことと思います。大きな事故無く、連休明けの5月7日に生徒が元気に登校してくれたこと、とても嬉しかったです。

ゴールデンウィーク明けの5月10日は深川四中の79回目の開校記念日でした。

～これまでの周年記念誌より抜粋～

深川第四中学校は昭和22年4月に新学制の施行（6・3・3制の新しい教育制度）とともに創立した江東区立中学校6校の内の1校として、旧深川江東女学院（現都立深川高校）の一角に開校いたしました。開校当時は1，2年4学級、生徒211名の小さな学校で、校舎の窓にはガラスもなく、机も椅子も教科書もない状態でのスタートでありました。

昭和25年からは旧石島国民学校（昭和11年開校）があった今の本校の所在地に移り、その後十数回の校舎や校庭の改修整備を行い、深川四中としての形をスタートさせました。

それ以来、戦後の復興期に始まり、ベビーブーム、受験戦争、校内暴力、ゆとり教育、少子化など様々な学校を取り巻く環境の変化の中、本校は数多くの先輩教職員の熱意と努力によって支えられ、発展してきました。

### ☆校章について

深川四中の校章は、＜四＞と＜中＞、中央に文化の象徴である＜金ペン＞が組み合わされています。何が幸福であるかを考え、誇り高い文化国家の再建に努力してほしいという想いが込められています。



開校から79年、深川四中は伝統を守りながら、社会の変化に対応して発展を続け、今年度は全校で563名の生徒が学んでいます。

次年度（令和9年度）は開校80周年を迎え、記念式典を実施する予定です。ご協力をよろしく申し上げます。

## 【学校経営方針について】

今年度の学校経営方針につきまして、4月の保護者会では一部分を説明いたしました。先日完成し、深川四中のホームページに掲載しています。あわせて、江東区教育委員会へ提出した「学校経営計画」も掲載します。ぜひご覧ください。

ポイントは…生徒ができた、わかった喜びを実感できる授業を実践し、生徒主体の取組の中で生徒がかがやく場面を多く設定し、「生徒・教職員に笑顔あふれる深川四中」を目指していきます。

重点として次の2点を掲げています。

- ① 生徒が主体的に学ぶことができる授業の実践と、生徒の更なる学力向上
- ② 心の教育や相談活動の充実

## 【体づくり運動講習会】

5月1日に体育館で「体づくり運動講習会」を行いました。この講習会は、体力の向上を目指すための方法理解や、健康への配慮、日常的に運動に親しむ態度の育成、体幹トレーニングの知識を得ること等を目的として行っています。講師にKOBASポーツエンターテイメントから、木場克己先生とスタッフの方々をお迎えし、学年ごとに講習を行いました。

講習の内容は、先生からの講話、動画による説明、実際に体を動かすことを行いました。生徒はしっかり講習に参加していました。（写真は動画による説明を受けているところです。）



## 【生徒総会】

5月15日に生徒総会を行いました。総会は生徒会本部役員や選出された議長団により進行され、生徒会本部や各専門委員会の活動方針・内容の発表、それに対する質疑応答が行われ、活動方針の採択があり、全ての方針が承認されました。

今回も手元の原稿は参考程度の確認で、発表者は自分の考えを自分の言葉で発表してくれました。また、聞いている生徒も、発表者の方を見て、しっかり聞くことができました。素晴らしいことです。承認された活動方針を実現すべく、全校生徒が気持ちを一つに頑張りましょう。



## 【江東区立中学校生徒海外短期留学】

江東区では「江東区立中学校生徒海外短期留学」を行っており、選ばれた中学3年生42名が夏休み中にカナダへ短期留学します。海外短期留学を通し、外国の自然・文化・風俗・習慣等を学び、生きた英語を体験し、国際感覚を身に付けた生徒を育成することを目的としています。

5月11日に結団式があり、式で本校の3年生3名が任命されました。7月18日からの短期留学に参加し、帰国後、留学中の体験や学習を発表します。



～正門横の壁に時計を設置しました～

登下校時、時間の確認に役立ててください。

「あ・じ・み」の<じ>…時間を守りましょう！